

2016年3月  
No.16-029a(全)※5

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては、本年3月より同一メーカーが販売する新試薬に変更させていただきます。新試薬は新たに3つのアレルゲンを追加したことにより、1回の採血で重要なアレルゲン36項目の検査が可能となります。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用いただきますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
5743	特異的 IgE (MAST33 アレルゲン)	検査項目名	特異的 IgE (MAST36 アレルゲン)	特異的 IgE (MAST33 アレルゲン)
		保 存 ( 安 定 性 )	冷蔵 (18日)	冷蔵
		測定アレルゲン	36アレルゲン (アスペルギルス、トマト、モモを追加)	33アレルゲン
		備 考	判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照下さい。	溶血でのご依頼は避けて下さい。 判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照下さい。

※その他の検査要項に変更はございません。

※測定アレルゲン一覧等、詳細は裏面をご参照下さい。

#### ■変更期日

●2016年3月31日(木)受付日分より

以上

# 特異的 IgE(MAST36 アレルゲン)

新たにアレルゲン(アスペルギルス、トマト、モモ)が追加され、特異的 IgE(MAST36 アレルゲン)となります。アスペルギルスは、自然界において最も普通にみられるカビの一種で、気管支喘息との関連が知られています。トマトは、ヒスタミンやそれに類似する物質を多く含んでいることが知られています。モモはバラ科の植物でシラカンバやハンノキの花粉と共通の部分があり、これらの花粉が原因でバラ科の食品アレルギーが誘発されることが注目されています。このように、アレルゲン検査において新たにニーズの高い3項目が加わりました。

## ■アレルゲン一覧

アスペルギルス、トマト、モモが加わりました

コナヒヨウダニ、ハウスダスト 1、ネコ皮屑、イヌ皮屑、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物 1、ヨモギ、スキ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、ラテックス、トマト、モモ\*\*、キウイ\*\*、バナナ\*\*、ゴマ\*\*、ソバ\*、小麦\*、ピーナツ\*、大豆\*、米、マグロ、サケ\*\*、エビ\*、カニ\*、ミルク\*、豚肉\*\*、牛肉\*\*、鶏肉\*\*、オボムコイド\*、卵白\*

\*: 食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲン

\*\*: 表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルゲン

## ■検査要項

項目コード	5743
検査項目名	特異的 IgE(MAST36 アレルゲン)
検体量 (容器)	血液 2mL (容器番号:01) ↓遠心 血清 0.5mL
保存方法 (検体の安定性)	冷蔵 (18日)
検査方法	CLEIA
基準値 (単位)	MAST クラス 0 1.39 以下(LC)
検査実施料	1430 点 (「D015」血漿蛋白免疫学的検査の「11」の上限)* <sup>1</sup>
検査判断料	144 点 (免疫学的検査判断料)
所要日数	4~7日
報告形態	別紙報告
備考	判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照下さい。
検査場所	エスアールエル (→5)

\* 1: 2016年3月現在の検査実施料を記載しています。

## ■判定基準

判定	MAST クラス	ルミカウント(LC)
陰性	0	0~1.39
偽陽性	1	1.40~2.77
陽性	2	2.78~13.4
	3	13.5~58.0
	4	58.1~119
	5	120~159
	6	160~200

## ■参考文献

中川 武正、他:アレルギーの臨床 26(3):238~242、2006.(検査方法参考文献)  
岩崎 栄作、他:日本小児アレルギー学会誌 4(1):87~95、1990